

財産目録の書き方

1 未成年者名義の財産全てを、記載例を参考に記入してください。

【注意】未成年者が相続人となっている遺産、死亡保険金、死亡退職金、遺族給付等は、別途遺産目録に記載してください。

2 必要資料例を参考に、財産の内容が分かる資料を添付してください。

資料は、右図「コピーの例」のとおり、A4用紙にコピーしてください。

《コピーの例》



記載例 未成年者の財産目録（令和〇年〇月現在）

未成年者氏名 ○ ○ ○ ○

1 預貯金、現金

金融機関名、支店名、口座番号	金額（円）	備考
〇〇銀行××支店 普通預金（1234567）	300,000	
〇〇銀行△△支店 定期預金（234567）	500,000	
ゆうちょ銀行 通常貯金（1450-2365）	200,000	

必要資料例（請求先）
通帳履歴のコピー（金融機関）
定期預金証書のコピー（金融機関）
通帳履歴のコピー（金融機関）

現金と預貯金の合計を記入してください。

現金・預貯金総額 1,000,000 円

①表紙、②表紙をめくってすぐの見開きページ（銀行名、支店名、口座名義人、口座番号の記載があるページ）、③直近2か月分の残高が記載されたページを全てコピーしてください。

未成年者が契約者又は受取人のものを記載してください。

2 保険契約・株式・投資信託、外貨預金等その他の資産

種類（証券番号等）	金額（評価額）（円）	備考
△△生命 学資保険（23F-005999）		
▲▲電力（株） 1,000株	2,000,000	

必要資料例（請求先）
保険証券のコピー

株の場合は、種類の欄に会社名・株数を、金額欄に直近の評価額を記載してください。

保険の場合は金額欄の記載は不要です。

必ず両面をコピーしてください。

3 不動産

所在、種類、面積等	備考
〇〇区〇〇町1-12 宅地123.4㎡	
〇〇区〇〇町1-12-34 居宅2階建て	

必要資料例（請求先）
不動産の全部事項証明書（法務局）
不動産の全部事項証明書（法務局）

4 負債

種類（債権者）	金額（円）	備考
カードローン（●●カード）	30,000	
立替金（親族〇〇）	200,000	入学金

必要資料例（請求先）
残高が分かる資料（カード会社）
振込み用紙又は領収書のコピー

負債総額 230,000 円